

国内債券セレクション（ラップ向け）

追加型投信／内外／債券

作成対象期間：2020年2月6日～2021年2月5日

第4期決算日：2021年2月5日

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
当ファンドは、日本を含む世界の債券を実質的な主要投資対象とし、主として利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざして運用することを目的としております。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。ここに運用状況をご報告申し上げます。
当ファンドが受益者のみなさまの資産形成に資するよう、運用に努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

第4期末（2021年2月5日）

基準価額	10,473円
純資産総額	24,115百万円
騰落率	+0.2%
分配金合計 ^(*)	0円

(*) 当期間の合計分配金額です。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、以下の方法でご覧いただけます。運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

閲覧・ダウンロード方法



<https://www.am.mufig.jp/>

[ファンド検索] に
ファンド名を入力

各ファンドの詳細ページで
閲覧およびダウンロード

MUFG 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
ホームページ <https://www.am.mufig.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客さま専用
フリーダイヤル  **0120-151034**

（受付時間：営業日の9：00～17：00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

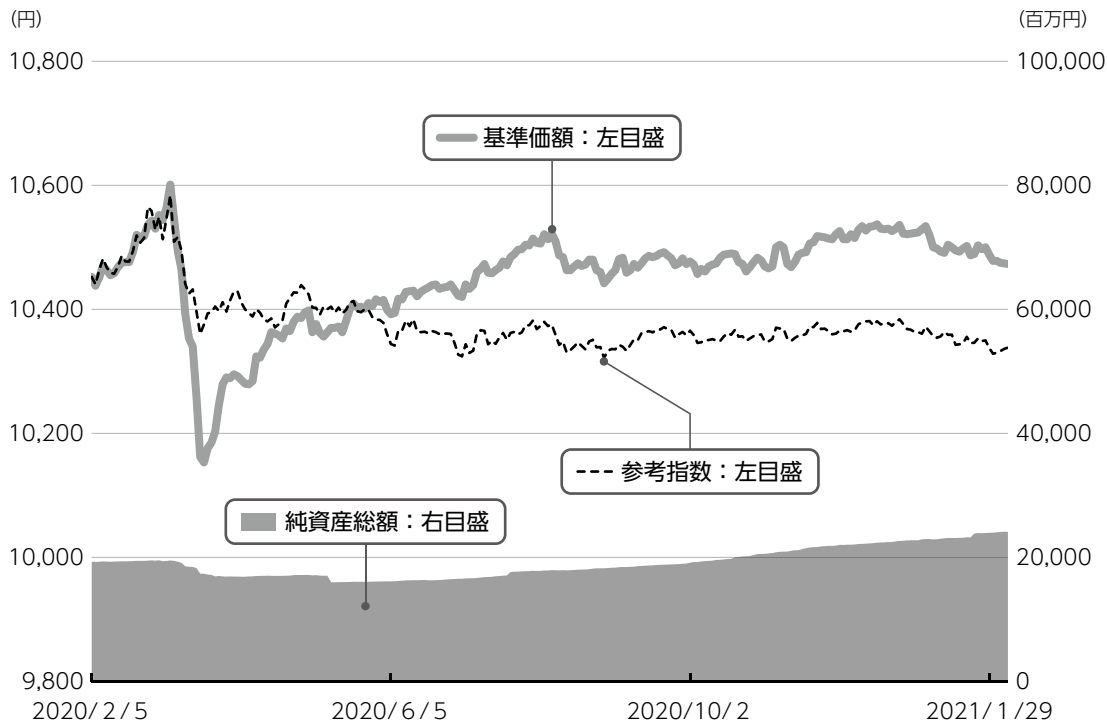
お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

運用経過

第4期：2020年2月6日～2021年2月5日

▶ 当期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第4期首	10,452円
------	---------

第4期末	10,473円
------	---------

既払分配金	0円
-------	----

騰落率	0.2%
-----	------

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期首に比べ0.2%の上昇となりました。

基準価額の主な変動要因**上昇要因**

組み入れを行った投資信託証券のうち、主に「AMP グローバル・インフラ債券ファンド<為替ヘッジあり>（FOFs用）（適格機関投資家限定）」がインフラ債券市況の上昇を背景に上昇したこと等が基準価額のプラス要因となりました。

※参考指数は、NOMURA-BPI総合です。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

※参考指数は、期首の値をファンドの基準価額と同一になるように指数化しています。

2020年2月6日～2021年2月5日

1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	40	0.385	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
（投信会社）	(32)	(0.308)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(5)	(0.044)	交付運用報告書等各种書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(3)	(0.033)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	0	0.000	(b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
（先物・オプション）	(0)	(0.000)	
(c) その他費用	1	0.010	(c) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
（保管費用）	(1)	(0.006)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（監査費用）	(0)	(0.004)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
（その他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	41	0.395	

期中の平均基準価額は、10,451円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含まず。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

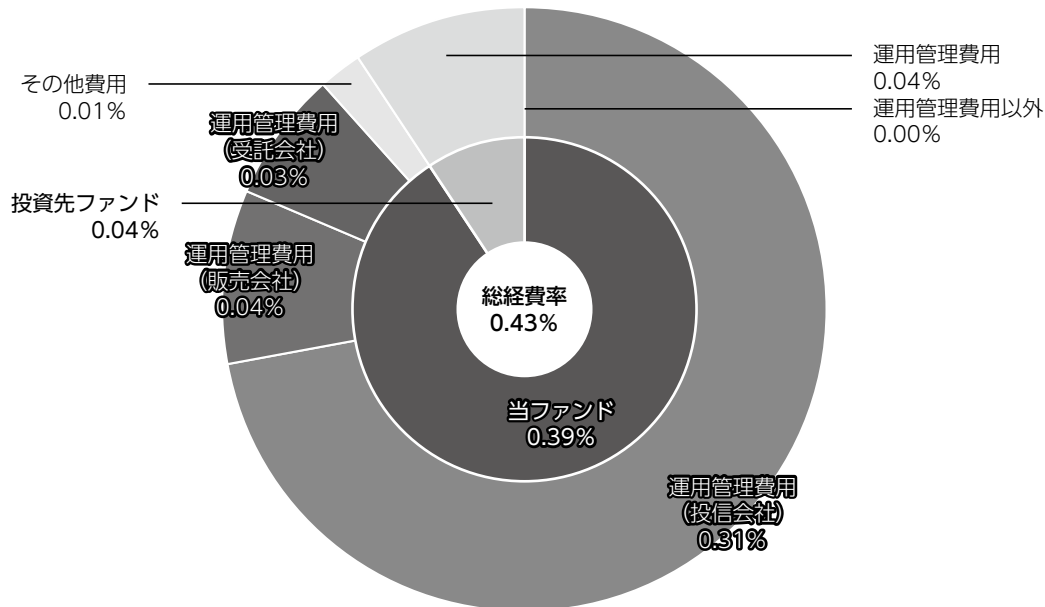
(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入れ上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.43%**です。



総経費率 (①+②+③)	(%)	0.43
①当ファンドの費用の比率	(%)	0.39
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	(%)	0.04
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	(%)	0.00

(注) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

2016年2月5日～2021年2月5日

最近5年間の基準価額等の推移について



※参考指数は、設定時の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

最近5年間の年間騰落率

			2018/2/5 期初	2019/2/5 決算日	2020/2/5 決算日	2021/2/5 決算日
基準価額	(円)	—	10,075	10,153	10,452	10,473
期間分配金合計（税込み）	(円)	—	—	0	0	0
基準価額騰落率	(%)	—	—	0.8	2.9	0.2
参考指数騰落率	(%)	—	—	1.8	1.1	-1.1
純資産総額	(百万円)	—	11,105	16,779	19,288	24,115

※騰落率および期間分配金合計については、年間の値を表示しており、期間が1年に達していない場合には表示していません。

参考指数は、NOMUR A-BPI 総合です。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

第4期：2020年2月6日～2021年2月5日

投資環境について

▶ 国内債券市況

国内債券市況は下落しました。

国内金利は、期首から2020年3月上旬にかけて、新型コロナウイルス感染拡大による世界経済の減速懸念等から米国金利が低下したこと等を背景に低下したものの、4月上旬にかけては、新型コロナウイルス感染拡大に伴う金融市場の不安定化を背景とした資産の現金化の動きが進んだこと等から、国内金利は上昇しました。その後期末にかけては横ばい圏で推移し、前期末比では国内金利が上昇したこと等がマイナスとなり、国内債券市況は下落しました。

▶ 海外債券市況

海外債券市況は上昇しました。

新型コロナウイルスの世界的感染拡大を背景として世界経済の減速懸念が高まったこと等を受けて投資家心理が悪化したことや、米欧中央銀行における金融緩和政策等を背景に、米国や欧州主要国の長期金利がともに低下したことや、債券利子収入を享受したこと等がプラスとなったこと等から、海外債券市況は上昇しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

投資信託証券への投資を通じて、主として日本を含む世界の債券に実質的な投資を行いました。

投資対象とする投資信託証券およびその投資比率は、三菱UFJ信託銀行の投資助言に基づき決定し、期を通じて「日本債券インデックスマザーファンド」、「先進国高格付国債マザーファンド」、「MUAM ヘッジ付外国債券オープンマザーファンド」、「AMP グ

ローバル・インフラ債券ファンド<為替ヘッジあり>（FOF s用）（適格機関投資家限定）」、「ショートデュレーション円インカムマザーファンド」、「三菱UFJ 国内債券アクティブマザーファンド」、「フランス国債7-10年ラダーマザーファンド」に投資を行いました。また、2020年5月中旬以降、「ヘッジ付スペイン国債7-10年ラダーマザーファンド」を組み入れました。

(ご参考)

■投資信託証券別組入比率表

ファンド名	期首	期末
日本債券インデックスマザーファンド	29.2	29.4
先進国高格付国債マザーファンド	4.9	1.9
ショートデュレーション円インカムマザーファンド	24.3	22.3
MUAM ヘッジ付外国債券オープンマザーファンド	9.1	8.3
AMP グローバル・インフラ債券ファンド<為替ヘッジあり> (FOFs用) (適格機関投資家限定)	10.5	10.5
三菱UFJ 国内債券アクティブマザーファンド	14.6	19.6
フランス国債7-10年ラダーマザーファンド	4.9	2.0
ヘッジ付スペイン国債7-10年ラダーマザーファンド	-	3.9

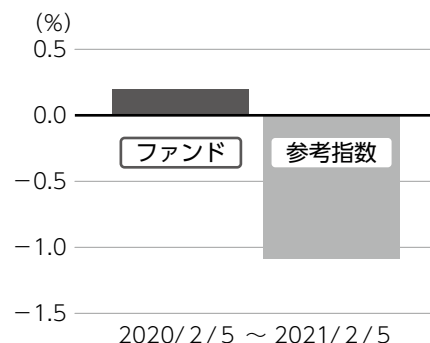
(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する各投資信託証券の評価額の割合です。

▶当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率との対比です。

参考指数はNOMUR A-BPI 総合です。

基準価額と参考指数の対比（騰落率）



分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第4期 2020年2月6日～2021年2月5日
当期分配金（対基準価額比率）	-（-%）
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	473

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針（作成対象期間末での見解です。）

日本を含む世界の債券を実質的な主要投資対象とし、主として利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざす運用方針を継続します。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。

投資対象とする投資信託証券およびその投資比率は、三菱UFJ信託銀行の投資助言に基づき決定します。

お知らせ

▶ 約款変更

- ・投資対象とする投資信託証券の入替えのため、投資対象とする投資信託証券を追加し、信託約款に所要の変更を行いました。（2020年5月2日）

▶ その他

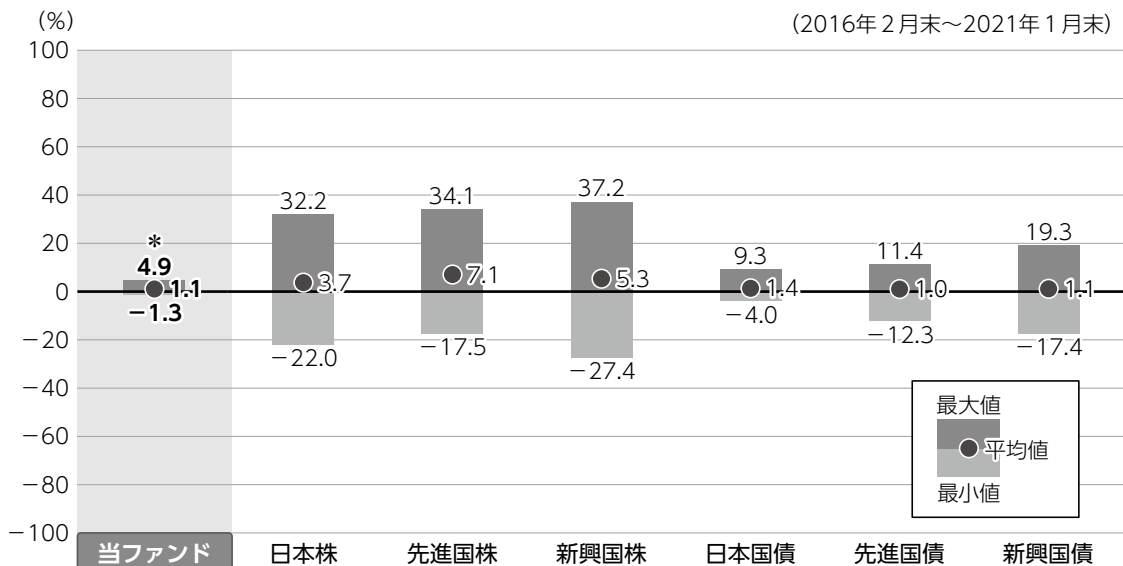
- ・該当事項はありません。

*本書が、受益者のみなさまのお手元に届くのは作成対象期間末から2ヵ月以上が経過していることにご留意ください。なお、最近の運用状況や約款変更の内容等は当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）にて開示を行っている場合があります。

当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／内外／債券
信託期間	2027年2月5日まで（2017年3月13日設定）
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主として日本を含む世界の債券に実質的な投資を行います。 投資対象とする投資信託証券については、定性・定量評価等により適宜見直しを行います。また、各投資信託証券の組入比率は適宜見直しを行います。投資信託証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。投資対象とする投資信託証券およびその投資比率は、三菱UFJ信託銀行の投資助言に基づき決定します。
主要投資対象	投資信託証券を主要投資対象とします。
運用方法	日本を含む世界の債券を実質的な主要投資対象とし、主として利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。 分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。（基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。）

ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



●上記は、2016年2月から2021年1月の5年間ににおける1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

*ファンドについては2018年3月～2021年1月の同様の騰落率を表示したものです。

各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス (配当込み)
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み)
日本国債	NOMURA-BPI (国債)
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本)
新興国債	JPMorgan Global Diversified

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

●全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

●騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

当該投資信託のデータ

2021年2月5日現在

当該投資信託の組入資産の内容

組入ファンド

(組入銘柄数：8銘柄)

ファンド名	第4期末 2021年2月5日
日本債券インデックスマザーファンド	29.4%
ショートデュレーション円インカムマザーファンド	22.3%
三菱UFJ 国内債券アクティブマザーファンド	19.6%
AMP グローバル・インフラ債券ファンド<為替ヘッジあり> (FOF s用) (適格機関投資家限定)	10.5%
MUAM ヘッジ付外国債券オープンマザーファンド	8.3%
ヘッジ付スペイン国債7-10年ラダーマザーファンド	3.9%
フランス国債7-10年ラダーマザーファンド	2.0%
先進国高格付国債マザーファンド	1.9%

※比率は当ファンドの純資産総額に対する各投資信託証券の評価額の割合です。

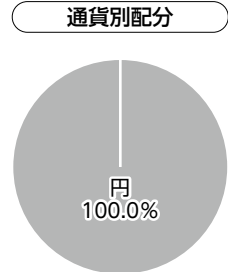
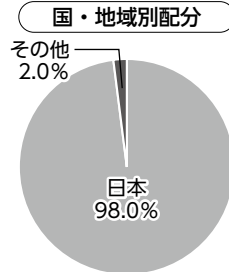
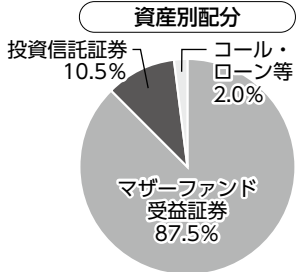
※上記のうち、上位3ファンドについては、「組入上位ファンドの概要」を後掲しています。

純資産等

項目	第4期末 2021年2月5日
純資産総額 (円)	24,115,146,293
受益権口数 (口)	23,025,291,012
1万口当たり基準価額 (円)	10,473

※当期中において追加設定元本は11,312,543,909円
同解約元本は 6,741,276,409円です。

種別構成等



※比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余剰資金等と合せて運用しているものを含みます。

※【国・地域別配分】、【通貨別配分】は、組入ファンドの発行地、発行通貨を表示しています。

968374

2020年5月12日現在

組入上位ファンドの概要

日本債券インデックスマザーファンド

基準価額の推移

2019年5月13日～2020年5月12日



1万口当たりの費用明細

2019年5月14日～2020年5月12日

項目	当期	
	金額(円)	比率(%)
(a) 売買委託手数料 (先物・オプション)	0	0.000
(b) その他費用 (その他)	0	0.000
合計	0	0.000

期中の平均基準価額は、13,628円です。

※項目の概要については、前記「1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

組入上位10銘柄

(組入銘柄数：820銘柄)

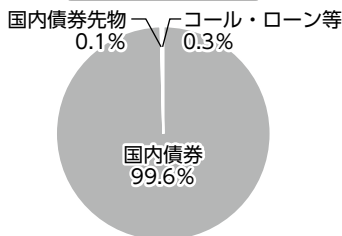
	銘柄	種類	国	業種/種別	比率(%)
1	第134回利付国債(5年)	債券	日本	国債	1.5
2	第342回利付国債(10年)	債券	日本	国債	1.3
3	第408回利付国債(2年)	債券	日本	国債	1.3
4	第137回利付国債(5年)	債券	日本	国債	1.2
5	第142回利付国債(5年)	債券	日本	国債	1.1
6	第339回利付国債(10年)	債券	日本	国債	1.1
7	第333回利付国債(10年)	債券	日本	国債	1.1
8	第356回利付国債(10年)	債券	日本	国債	1.0
9	第354回利付国債(10年)	債券	日本	国債	1.0
10	第409回利付国債(2年)	債券	日本	国債	1.0

※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。

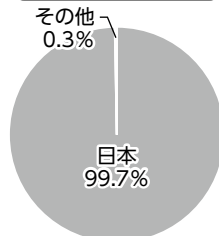
※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

種別構成等

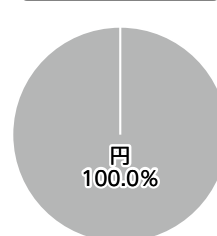
資産別配分



国別配分



通貨別配分



※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※国別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等(国内外)を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合わせて運用しているものを含みます。

291340

2020年2月20日現在

組入上位ファンドの概要

▶ ショートデュレーション円インカムマザーファンド

基準価額の推移

2019年2月20日～2020年2月20日



1万口当たりの費用明細

2019年2月21日～2020年2月20日

項目	当期	
	金額(円)	比率(%)
(a) 売買委託手数料 (先物・オプション)	0	0.002
(b) その他費用 (保管費用)	2	0.020
(その他)	(2)	(0.020)
(その他)	(0)	(0.000)
合計	2	0.022

期中の平均基準価額は、9,576円です。

※項目の概要については、前記「1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

組入上位10銘柄

(組入銘柄数：30銘柄)

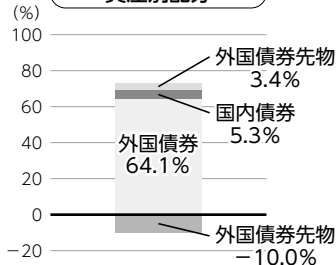
順位	銘柄	種類	国	業種/種別	比率(%)
1	0.2 LB BADEN-WUER 211213	債券	ドイツ	特殊債	5.3
2	2.1 VERIZON COMMU 260506	債券	アメリカ	社債	4.0
3	1.873 CENTRAL NIP 240926	債券	日本	社債	3.9
4	1.75 O.A.T 230525	債券	フランス	国債	3.9
5	第15回G E キャピタルコーポレーション	債券	日本	社債	3.5
6	3.45 AT&T INC 230919	債券	アメリカ	社債	3.5
7	1.5 KFW 240611	債券	ドイツ	特殊債	3.4
8	FRN MACQUARIE B 250305	債券	オーストラリア	社債	3.3
9	FRN GOLDMAN SACHS 231129	債券	アメリカ	社債	3.2
10	1.25 SWEDISH COVE 220615	債券	スウェーデン	社債	3.1

※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。

※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

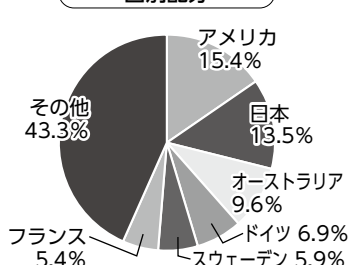
種別構成等

資産別配分



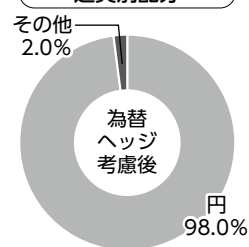
※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

国別配分



※国別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合わせて運用しているものを含まず。

通貨別配分



591201

2020年2月17日現在

組入上位ファンドの概要

三菱UFJ 国内債券アクティブマザーファンド

基準価額の推移

2019年2月15日～2020年2月17日



1万口当たりの費用明細

2019年2月16日～2020年2月17日

項目	当期	
	金額(円)	比率(%)
(a) その他費用	0	0.000
（保管費用）	(0)	(0.000)
（その他）	(0)	(0.000)
合計	0	0.000

期中の平均基準価額は、14,798円です。

※項目の概要については、前記「1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

組入上位10銘柄

(組入銘柄数：115銘柄)

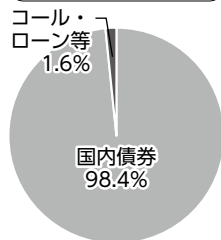
銘柄	種類	国	業種/種別	比率(%)
1 第354回利付国債(10年)	債券	日本	国債	3.0
2 第28回三菱東京UFJ銀行(劣後特約付)	債券	日本	社債	1.9
3 第15回パナソニック	債券	日本	社債	1.9
4 第10回ピー・ピー・シー・イー・エス・イー	債券	日本	社債	1.9
5 第3回マラヤン・バンキング(2019)	債券	日本	社債	1.9
6 第6回マラヤン・バンキング	債券	日本	社債	1.9
7 第166回利付国債(20年)	債券	日本	国債	1.7
8 第141回利付国債(5年)	債券	日本	国債	1.4
9 第162回利付国債(20年)	債券	日本	国債	1.4
10 第58回利付国債(30年)	債券	日本	国債	1.4

※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。

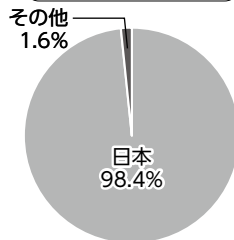
※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)をご覧ください。

種別構成等

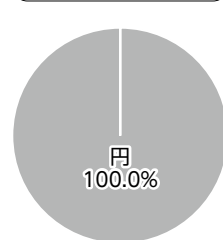
資産別配分



国別配分



通貨別配分



※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※国別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等(国内外)を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合わせて運用しているものを含みます。

指数に関して

▶ ファンドの参考指数である『NOMURA-BPI総合』について

NOMURA-BPI総合とは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な債券パフォーマンスインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

▶ 「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

● 東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、わが国の株式市場全体の値動きを表す株価指数です。TOPIXに関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

● MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）

MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

● MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

● NOMURA-BPI（国債）

NOMURA-BPI（国債）とは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な国債パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI（総合）のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

● FTSE世界国債インデックス（除く日本）

FTSE世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

● JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当指数の著作権はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。



三菱UFJ国際投信